



古田晁記念館 文学サロン



2026年

10/30 [金] 13:30-16:00 開場 13:00

市民交流センター(えんぱーく) 3階 多目的ホール

定員 / 100人 (先着順) 参加費 / 無料



第1部 13:30 - 14:00

「小説を支える詩 —それは、火加減に似ている—」

講師：栗原 知子さん

文体ってなんだろう。詩を書いていた頃も、小説に取り組むようになったあとも、書きことばの持つ音楽性について考えてきました。実作を通して感じたことや読んできた本のことなどをお話しします。

2025 太宰治賞受賞作家
栗原 知子(くりはら ともこ)



1975年、宮城県生まれ。明治大学文学部卒業。2002年、雑誌「ユリイカ」(青土社)の詩の投稿欄において「ユリイカの新人」に選ばれる。詩集に『シューティング・ゲーム』『ねこじゃらしたち』(ともに思潮社)がある。小説「フェイスウォッシュ・ネクロマンシー」で第41回太宰治賞を受賞、同単行本が第39回三島由紀夫賞候補に選出。

第2部 14:00 - 16:00

「筑摩書房時代、夕日書房立ち上げと現在の出版界」

講師：山野 浩一さん

まず筑摩書房について、主にちくま新書立ち上げ前後の裏話と、社長時代3年間の実話。つぎに夕日書房の立ち上げについて簡単に。最後に現在の出版業界についての現状と感想などをお話しします。

夕日書房代表取締役
山野 浩一(やまの こういち)



1961年東京生まれ。1981年青山学院大学入学。1985年日経マグローヒル(現・日経BP)社入社。1988年筑摩書房入社、営業部販売一課配属。1997年編集部へ異動、2001年ちくま新書編集長、2005年同取締役就任。2015年筑摩書房代表取締役社長就任。2019年偕成社取締役就任。2020年夕日書房設立、現在に至る。2025年、(株)ステップ社外取締役を兼任。

申し込み

申込開始日 9月18日(金)

本館総合カウンター、電話
右記のGoogleフォームのいずれか。



Googleフォーム
二次元コード

同日、募参ツアー
を開催します。